

健康診断注意事項

正しい検査を実施するために、注意事項をよくお読みください。

食事・水分などの注意事項をお守りいただけない場合、検査の精度が落ち、所見の早期発見が難しくなります。



健康診断注意事項

正しい検査を実施する為に以下の注意事項をお守りください。

食事について

【午前の部を受診される方】

◆胃部レントゲン検査(バリウム)・腹部超音波検査(腹部エコー)がある方へ

検査前日

- 夕食は21時までに済ませてください。
- 夕食は消化の悪いもの(海藻類・きのこ類など)、油っこいもの(揚げ物の他カレー・中華料理なども)、アルコールは避けて下さい。
- 就寝までに水・お茶・白湯は飲んでいただいて構いません。果肉などの固形物入りの飲み物はご遠慮下さい。

検査当日

- 前日21時以降食事はしないでください。検査終了まで食事はしないでください。

※ただし起床後から予約時間の3時間前までであれば、100ml以下のお水に限り摂取可能です。

※たばこ・ガム・あめ・サプリメントも厳禁です。



◆上部消化管内視鏡検査(胃カメラ)がある方へ

検査前日

- 夕食は20時までに済ませてください。
- 夕食は消化の悪いもの(海藻類・きのこ類など)、油っこいもの(揚げ物の他カレー・中華料理なども)、アルコールは避けて下さい。
- 就寝までに水・お茶・白湯は飲んでいただいて構いません。果肉などの固形物入りの飲み物はご遠慮下さい。

検査当日

- 前日20時以降、食事はしないでください。検査終了後1時間食事はできません。

※ただし予約時間の3時間前までであれば、お水に限り摂取可能です。

※たばこ・ガム・あめ・サプリメントも厳禁です。

◆胃部レントゲン検査(バリウム)・腹部超音波検査(腹部エコー)・胃カメラはないが、採血もしくは採尿がある方へ

検査当日

- 受付時間の3時間前まで消化の良い軽い食事は可です。検査終了まで食事はしないでください。お水は飲んでも差し支えありませんが、それ以外の飲み物はご遠慮下さい。
※たばこ・ガム・あめ・サプリメントの摂取も厳禁です。

【午後の部を受診される方】

◆胃部レントゲン検査(バリウム)・腹部超音波検査(腹部エコー)がある方へ

検査前日

- 夕食は21時までに済ませてください。
- 朝から消化の悪いもの(海藻類・きのこ類など)、油っこいもの(揚げ物の他カレー・中華料理なども)、アルコールは避けてください
- 果肉などの固形物入りの飲み物をご遠慮ください。

検査当日

- 受付時間の6時間前までに以下の軽食を済ませて下さい。検査終了まで食事はしないでください。

※軽食:食パン1枚(みみ以外のやわらかい部分)を何もつけずにお召し上がり下さい。

お水・お茶、ミルクや砂糖が入ってないコーヒー・紅茶は飲んでも差し支えありません。

- 受付時間の3時間前までであれば、少量程度のお水に限り摂取可能です。

◆上部消化管内視鏡検査(胃カメラ)がある方へ



検査前日

- 朝から消化の悪いもの(海藻類・きのこ類など)、油っこいもの(揚げ物の他カレー・中華料理なども)、アルコールは避けてください
- 夕食は20時までに済ませてください。
- 就寝までに水・お茶・白湯は飲んでいただいて構いません。果肉などの固形物入りの飲み物をご遠慮下さい。

検査当日

- 前日20時以降、食事はしないでください。検査終了後1時間食事はできません。

※ただし健診の3時間前までであれば、お水に限り摂取可能です。

※たばこ・ガム・あめ・サプリメントも厳禁です。

◆胃部レントゲン検査(バリウム)・腹部超音波検査(腹部エコー)・胃カメラはないが、採血もしくは尿検査がある方へ

検査当日

- 受付時間の3時間前まで消化の良い軽い食事は可です。検査終了まで食事はしないでください。お水は飲んでも差し支えありませんが、それ以外の飲み物をご遠慮下さい。
※たばこ・ガム・あめ・サプリメントの摂取も厳禁です。

薬について

- 心臓病・高血圧の薬を服用されている方は、検査当日の受診3時間前までに少量の水（コップ1杯程度）で服用してください。
- その他の薬を服用されている方は、主治医と相談の上、受診してください。
- 糖尿病の治療中で、薬の服用、インシュリンの投与が必要な方は、低血糖をおこす可能性があるため事前に主治医へご相談ください。



その他

- 受診できない事情が生じたときは、できるだけ早めに健診センターまでご連絡下さい。
- 当日、発熱などがあり体調が悪いような場合は、無理をせず健診日をご変更下さい。
- お子様を連れてのご来所は、固くお断りいたします。
- 当健診センターには専用駐車場・駐輪場がありません。
電車・バスなどの交通機関をご利用ください。
- ペースメーカーを装着されている方、埋め込み式補聴器を使用している方、人工透析中の方は一部受診できない検査がございます。事前にお申し出ください。
- 今まで胃の検査で、バリウム服用後に以下の症状のあった方は事前にお申し出下さい。
（発疹、のどがつまる、息がしにくい、顔色が青くなる、その他のアレルギー症状）
- 採血時、体調不良や過度の緊張、空腹などが誘因となり針を刺した刺激により気分が悪くなる場合があります。
以前に同様の症状がおこったことのある方や体調が悪い方は、受診日当日にお知らせ下さい。

＜横浜市がん検診をお受けになる方へ＞ がんの治療中、もしくは経過観察中の方は、その部位の検診はお受けになることができません。お手数ですが、当院にご連絡ください。

受診当日、持参していただくもの

各種問診表

※必要事項をあらかじめご記入しご持参ください。

ご利用券・受診票など（※健康保険組合や横浜市などから配布されている方）

便検体（※便検査を申し込まれた方）

- ◆事前にお送りした容器（緑色ビニール袋）に採取し、当日受付に提出してください。
- ◆検便が2日分ある方は、2回分を別の日に採取してください。
2日分を採取できない場合は、1日分でもお持ちください。
- ◆健診当日を含め6日以内に採取してください。
採取後は冷蔵庫などの冷暗所で保管し、当日お持ちください。
- ◆受診日当日にお持ち頂けなかった場合には便検査をキャンセルさせて頂く場合がございます。

保険証

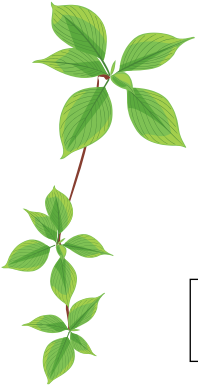
眼底・眼圧検査の際に、コンタクトレンズを外して頂く場合がございますので
コンタクトケースか替えのコンタクトレンズをお持ちください。便検査を申し込まれた方

保険

着替えについて

検査当日は検査着に着替えていただきます。

- ◆ネックレス、エレキバン、湿布、ボタン、プラスチック、金具、ブラジャーは外してください。
- ◆ストッキングは脱いでください。
- ◆足元が冷える方は靴下をご持参ください。
無地のTシャツ（ハイネックもOK）・肌着は健診着の下に着用されても構いません。
袖口のきついもの、厚手のもの、刺繍のあるもの、セーターは避けてください。
ストッキングは脱いでください。センターではソックスを用意しています。
女性の方には、ロッカーに小物入れを用意してありますので、ご自由にご利用ください。



婦人科検査を受ける方へ

正しい検査を実施する為に以下の注意事項をお守りください。

☆生理中は、以下の項目について正しい検査結果が出ない可能性があります。

受診予定日に生理になりそうな場合、もしくはなってしまった場合は、
お電話での御予約日時変更を承りますのでお知らせください。

<検査項目>

- ・子宮がん検査(受診日当日に生理の場合は検査を中止させていただきます)
- ・尿検査

※便潜血検査については後日郵送が可能ですので、当日受付でご相談ください。

☆妊娠の可能性のある方はX線検査ができませんので、必ずお知らせ下さい。

☆マンモグラフィ検査をお受けになる方は、腋窩(脇の下)から胸部に
制汗剤・保湿剤など使用しないでください。

☆以下の方はマンモグラフィ検査をお受けできないので、事前にご連絡下さい。

- ① 豊胸手術されている方、ヒアルロン酸注入されている方
- ② ペースメーカー装着中の方(破損する可能性があるため)
- ③ 授乳中～断乳後半年以内の方(正確な診断ができない場合があるため)

☆以下の方は乳房超音波検査をお受けできないので、事前にご連絡下さい。

- ① 豊胸手術されている方、ヒアルロン酸注入されている方
- ② 授乳中～断乳後半年以内の方(正確な診断ができない場合があるため)

